

モッコウ（木香）



語源

トウヒレン属 *Saussurea* ソシユーレアは、スイスの哲学者にして植物学者・地質学者また気象学者であるオラス・ソシユーラ Horace Saussure (1740-1799) に献じられた名前である。種小名 *lappa* ラッパは、ラテン語で「(ゴボウのような)イガのある」という意味。モッコウ *Saussurea lappa* は、ゴボウ *Arctium lappa* と種小名が同じだが、実際、モッコウの種はゴボウの種に似ている。属名の元となるトウヒレンは漢字で書くと「唐飛廉」。飛廉とは中国の想像上の鳥のことで、頭は雀に似るが角があり、身は鹿のようで豹紋があり、尾は蛇に似るといふ。実際には飛廉は、中国で「アザミ」のことを指し、アザミ属とトウヒレン属は似ている。和名のモッコウ(木香)は根に蜜のような芳香があるため、その名がある。

基原

Saussurea lappa Clarke
(=*Aucklandia lappa* Decaisne あるいは *Saussurea costus* (Falc.) Lipsch)
モッコウ
キク科 多年生草本

中国市場には青木香 (*Aristolochia debilis*)、川木香 (*Vladimiria souliei*)、土木香 (*Inula helenium*) などと呼ばれる生薬がある。土木香は日本でも木香の代用品として栽培されていたが、日本薬局方で規定されるのは、モッコウ *Saussurea lappa* 一種のみである。

薬用部分

根

産地

インド北部の標高2500~4000mの高山地帯に生え、現在インド、中国の雲南、浙江、江蘇、安徽などで栽培される。近年、野生種のモッコウがワシントン条約に抵触しているため、日本に輸入されているのは雲南省などで栽培された木香である。

主な成分

アプロタクセン、 α -イオノン、 β -サリネン、コスタスラクトン、デヒドロコスタスラクトン、サウスレアラクトン、コスタノライド、ジヒドロコスタノライド、コストール、コスチン酸、 β -セリネン、ステイグマステロール、ベツリンなどを含む。

主な薬効

健胃

代表的処方

芳香健胃薬であり、食欲不振、消化不良に配合剤(胃腸薬)として用いる。また、漢方処方用薬でもあり、婦人薬、精神神経用薬とみなされる処方及びその他の処方に少数例配合されている。

【帰脾湯】

キヒトウ
虚弱体質で血色の悪いものの貧血、不眠症に用いる。
(処方内容) 人參/白朮/茯苓/酸棗仁/龍眼肉/黄耆/当歸/遠志/甘草/木香/大棗/乾生姜

【香砂養胃湯】

コウシャヨウイトウ
胃弱、胃アトニー、慢性胃腸炎に用いる。
(処方内容) 白朮/人參/茯苓/木香/蒼朮/縮砂/厚朴/甘草/陳皮/大棗/香附子/乾生姜/白豆蔻

【牛膝散】

ゴシツサン
比較的体力のあるものの次の諸症に用いる：月経困難、月経不順、月経痛
(処方内容) 牛膝/当歸/桂枝/牡丹皮/芍薬/延胡索/桃仁/木香

【参蘇飲】

ジンソイン
感冒、咳。一般に胃の弱いものに用いる。
(処方内容) 紫蘇葉/茯苓/枳実/人參/桔梗/大棗/陳皮/生姜/葛根/前胡/木香/半夏/甘草

※参考文献：「生薬単」「日本薬局方」「中薬大辞典」「牧野和漢薬草大図鑑」「和漢薬の事典」「漢方のくすりの事典」

⚠ この資料は業者間取引用の説明資料です。一般消費者の方への販促資料としてはお使いにならないようお願いいたします。



健やかな未来を創る自然の力
福田龍株式会社

(お問い合わせ) 〒530-0047大阪市北区西天満1-5-11
TEL: 06-6364-5861 FAX: 06-6364-6562
URL: www.fukudaryu.co.jp